平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 神鋼商事株式会社　　上場取引所　東
コード番号 8075　URL http://www.shinsho.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 村瀬 敬一
問合せ先責任者　(役職名) 総務部長　(氏名) 阿野 健二郎　TEL 03-3276-2036

四半期報告書提出予定日　平成26年2月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	625,981	8.2	4,052	2.8	3,718	10.1	1,839	87.6
25年3月期第3四半期	578,661	△12.0	3,941	△15.8	3,377	△15.9	980	△56.4

(注)包括利益　26年3月期第3四半期　4,561百万円　(444.3%)　25年3月期第3四半期　838百万円　(△6.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	20.77	―
25年3月期第3四半期	11.07	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	228,182	35,724	14.8
25年3月期	214,206	31,479	13.9

(参考)自己資本　26年3月期第3四半期　33,679百万円　25年3月期　29,738百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	3.00	―	3.00	6.00
26年3月期	―	3.00	―		
26年3月期(予想)				3.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	850,000	10.4	5,800	6.3	5,300	9.1	2,900	54.2	32.75

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
②①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	88,605,625 株	25年3月期	88,605,625 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	54,275 株	25年3月期	54,175 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	88,551,397 株	25年3月期3Q	88,551,645 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
(1)　経営成績に関する説明　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
(2)　財政状態に関する説明　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
(3)　連結業績予想などの将来予測情報に関する説明　・・・・・・・・ 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項　・・・・・・・・・・・・・ 3
(1)　当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　・・・・・ 3
(2)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　・・・・・ 3
３．四半期連結財務諸表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
(1)　四半期連結貸借対照表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
(2)　四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書　・・・・ 6
(3)　四半期連結財務諸表に関する注記事項
（継続企業の前提に関する注記）　・・・・・・・・・・・・・・ 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）　・・・・ 8
（セグメント情報）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済・金融政策を背景とした輸出環境等の好転により、企業収益の改善や個人消費の持ち直しなどから、着実に回復が進みました。海外経済は米国で緩やかな景気拡大が続いたものの、中国の伸び悩みや一部新興国の減速傾向から依然として不透明な状況のまま推移しました。

このような環境の下、当社グループの業績につきましては粗鋼生産の増加に加えて、自動車業界や建設業界を中心に引続き業績回復の動きが見られたことから、全体としては堅調に推移しました。

この結果、売上高は6,259億81百万円（前年同四半期比8.2%増）、営業利益は40億52百万円（同2.8%増）、経常利益は37億18百万円（同10.1%増）、四半期純利益は18億39百万円（同87.6%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①鉄鋼セグメント

鋼板製品は内需復調や輸出環境の改善等により取扱量が増加しました。線材製品は自動車業界の好調を受け取扱量が増加しましたが、国内向け価格は下落しました。海外においてはアメリカを中心に堅調な需要に支えられ、総じて業績は好調に推移しました。

この結果、売上高は2,082億48百万円（前年同四半期比9.6%増）、セグメント利益は19億51百万円（同3.2%増）となりました。

②鉄鋼原料セグメント

粗鋼生産量の回復により輸入鉄鋼原料やスラグの取扱量が増加しました。冷鉄源およびチタン原料の取扱量は減少しましたが、合金鉄は増加しました。

この結果、売上高は2,473億64百万円（前年同四半期比10.0%増）、セグメント利益は7億11百万円（同3.8%増）となりました。

③非鉄金属セグメント

銅製品は半導体向けリードフレームの取扱量は減少しましたが、自動車向け端子材用銅板条および空調用銅管の取扱量は増加しました。アルミ製品はハードディスクや鉄道車両向けの取扱量が増加しました。非鉄原料は銅地金およびアルミスクラップの取扱量が増加しました。

この結果、売上高は1,332億99百万円（前年同四半期比11.0%増）、セグメント利益は7億51百万円（同190.5%増）となりました。

④機械・情報セグメント

機械製品は産業用制動装置、タイヤ機械、建設機械部材の取扱いは増加しましたが、大型案件および製鉄関連資機材の取扱いが減少しました。情報関連商品はタッチパネル用電子材料等の取扱いが減少しました。

この結果、売上高は436億33百万円（前年同四半期比4.7%減）、セグメント利益は1億17百万円（同46.3%減）となりました。

⑤溶材セグメント

溶接材料は建築鉄骨や建設機械向けの取扱量は増加し、自動車向けは堅調に推移しましたが、造船向けが減少し、中国向けの輸出も減少しました。溶接関連機器は国内外の建設機械メーカー向けの取扱いが減少し、生産材料も取扱量が減少しました。

この結果、売上高は269億65百万円（前年同四半期比7.2%減）、セグメント利益は1億49百万円（同50.4%減）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（総資産）

当第３四半期連結会計期間末における総資産は2,281億82百万円となり、前連結会計年度末比139億75百万円の増加となりました。これは主に受取手形及び売掛金の増加と保有株式の時価の変動による投資有価証券の増加によるものです。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における負債合計は1,924億57百万円となり、前連結会計年度末比97億30百万円増加となりました。これは主に支払手形及び買掛金と流動負債のその他に含まれる預り金の増加によるものです。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産は357億24百万円となり、前連結会計年度末比42億45百万円の増加となりました。これは主に当期利益の計上に加え、保有株式の時価の変動によりその他有価証券評価差額金が増加したことおよび為替相場の円安に伴う為替換算調整勘定が増加したことによるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年３月期の通期連結業績予想につきましては、平成25年10月31日付けの「平成26年３月期第２四半期決算短信」において公表いたしました予想数値から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

法人税等ならびに繰延税金資産および繰延税金負債の算定方法について、当社は原則的な方法によっております。但し、一部の関係会社においては、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,535	9,278
受取手形及び売掛金	130,101	144,420
商品及び製品	21,752	20,328
仕掛品	272	360
原材料及び貯蔵品	405	495
前払金	7,261	13,055
繰延税金資産	666	581
その他	2,888	2,625
貸倒引当金	△225	△272
流動資産合計	181,659	190,873
固定資産		
有形固定資産	5,235	6,429
無形固定資産	1,551	1,385
投資その他の資産		
その他	26,055	29,694
貸倒引当金	△294	△200
投資その他の資産合計	25,760	29,494
固定資産合計	32,547	37,308
資産合計	214,206	228,182
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	115,728	118,664
短期借入金	25,872	25,290
未払法人税等	497	553
賞与引当金	737	487
その他	14,597	20,263
流動負債合計	157,432	165,258
固定負債		
長期借入金	23,402	24,658
退職給付引当金	602	644
役員退職慰労引当金	34	37
その他	1,256	1,859
固定負債合計	25,294	27,199
負債合計	182,727	192,457

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,650	5,650
資本剰余金	2,703	2,703
利益剰余金	22,844	24,152
自己株式	△17	△17
株主資本合計	31,181	32,489
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	705	2,029
繰延ヘッジ損益	43	46
為替換算調整勘定	△2,191	△884
その他の包括利益累計額合計	△1,442	1,190
少数株主持分	1,740	2,044
純資産合計	31,479	35,724
負債純資産合計	214,206	228,182

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
売上高	578,661	625,981
売上原価	561,992	608,643
売上総利益	16,669	17,338
販売費及び一般管理費	12,727	13,286
営業利益	3,941	4,052
営業外収益		
受取利息	29	40
受取配当金	455	538
為替差益	195	－
持分法による投資利益	102	240
雑収入	295	229
営業外収益合計	1,078	1,048
営業外費用		
支払利息	466	450
売掛債権譲渡損	512	520
為替差損	－	123
デリバティブ評価損	272	51
雑損失	389	237
営業外費用合計	1,641	1,383
経常利益	3,377	3,718
特別利益		
関係会社株式売却益	22	－
会員権売却益	5	－
特別利益合計	27	－
特別損失		
減損損失	331	－
投資有価証券評価損	2	9
出資金評価損	－	58
会員権評価損	14	8
特別損失合計	348	76
税金等調整前四半期純利益	3,056	3,641
法人税、住民税及び事業税	1,154	1,523
過年度法人税等	607	－
法人税等調整額	276	254
法人税等合計	2,038	1,777
少数株主損益調整前四半期純利益	1,018	1,863
少数株主利益	37	24
四半期純利益	980	1,839

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,018	1,863
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△267	1,305
繰延ヘッジ損益	0	2
為替換算調整勘定	51	1,086
持分法適用会社に対する持分相当額	34	303
その他の包括利益合計	△180	2,697
四半期包括利益	838	4,561
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	814	4,472
少数株主に係る四半期包括利益	23	88

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他（注）１	調整額	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	鉄鋼	鉄鋼原料	非鉄金属	機械・情報	溶材	計			
売上高									
外部顧客への売上高	189,939	224,877	120,115	45,785	29,063	609,780	278	△31,398	578,661
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	1	－	－	1	－	△1	－
計	189,939	224,877	120,117	45,785	29,063	609,782	278	△31,399	578,661
セグメント利益	1,889	685	258	219	302	3,355	41	△19	3,377

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他（注）１	調整額	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	鉄鋼	鉄鋼原料	非鉄金属	機械・情報	溶材	計			
売上高									
外部顧客への売上高	208,248	247,364	133,297	43,633	26,965	659,510	284	△33,812	625,981
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	1	－	－	1	－	△1	－
計	208,248	247,364	133,299	43,633	26,965	659,511	284	△33,813	625,981
セグメント利益	1,951	711	751	117	149	3,681	43	△6	3,718

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。